

松江地区交通安全協会の活動

『春の全国交通安全運動』における啓発活動

第26回松江市交通安全ウォークラリー大会の開催

日時 平成24年4月14日（土） 9：30 ～ 12：00

参加者 54チーム 181名

開催場所 末次公園をスタート・ゴールとし、松江歴史館、島根県庁、松江城などを回るA・Bの2kmコース

（社）松江地区交通安全協会では、松江市、松江警察署と連携して、春の全国交通安全運動の一環として、参加体験型で、三世代の交通安全教育としてみだしの大会を開催しました。

親子で約2kmのコースを配布された地図を見ながら歩き、途中のチェックポイントのクイズ（合計10問）に答えて、いかに基準タイムに近い時間で戻れるかを競ったほか、コース内に配置していた交通指導員が道路上のルール違反をチェックする等の審査を行い、1～3位を表彰しました。

競技終了後は、末次公園において『ご長寿安全号』『白バイ・パトカー試乗』『シートベルトコンビンサー』体験、さらに参加した子どもたちは『交通安全ビンゴゲーム』で交通標識について学びながら理解を深めることができました。



タクシー運賃割引制度出発式への参加

9月19日敬老の日に、高齢運転者の免許証自主返納の支援事業としてのタクシー運賃の割引制度の開始が始まりました。

これに合わせて同日午前、松江警察署において出発式が行われました。

9月20日現在、松江市内の12社のタクシー事業所が松江警察署と協定を締結しており、9月19日に本割引制度を開始させる手続きが完了した9事業所のうち、式に参加した7社がタクシーの車体に『免許返納割引制度実施車』のステッカーを貼り付け松江市内に出発しました。

この制度は、運賃割引を実施するタクシーの乗車運賃の約1割引きを行うもので、**満65歳以上の運転者で免許証の自主返納手続を行い、『運転経歴証明書』の交付を受けた方が対象**となります。



ステッカー交付の状況



ステッカーの貼り付け



タクシー出発の様子

シルバー交通安全フェスティバルの開催

松江地区交通安全協会は松江市・松江警察署との共催により、平成23年9月23日午前、『シルバー交通安全フェスティバル』を開催しました。

この催しは、近年、高齢者が関与する交通事故が多いことから、秋の全国交通安全運動の機会を利用し、高齢者自らの運転技能や他者（車）に対する配慮等を再確認しつつ交通事故防止への理解と関心を高め、加害、被害を問わず高齢者の交通事故防止を図ることを目的としており、松江市地区高齢者を主とした82人が参加しました。

実技体験では、

- 実践運転（サポートチームが助手席に乗って実技指導）
- 死角実験（運転席からの死角を体験）
- 運動機敏テスト（クイックアームにて視野と運動の機敏テスト）
- 視野・飲酒ゴーグル体験（飲酒ゴーグルを付けて歩行、飲酒後の視野を体験）を体験。その後、落語家の桂 三段氏による交通全般に関する講話も行われました。



平成23年度交通安全高齢者の主張 松江地区大会の開催

高齢者に体験事例や意見等を発表する機会を設け、交通安全意識の高揚及び高齢者の交通事故防止を図るとともに、今後の交通行政にさせることを目的とした『交通安全高齢者の主張 松江地区大会』を開催しました。

平成23年8月26日（金）午後2時～4時30分、松江警察署 大会議室において120名の聴衆が見守る中、65歳以上の支部の代表7名が交通安全に関するテーマに基づき熱弁を振りました。

優秀賞には

生馬支部 山根 克彦 さん 『安全運転は相手を気遣う心から』

乃木支部 井原 和三郎 さん 『高齢者の事故防止基本は自分を知ること』

朝日支部 孝忠 康夫 さん 『交通事故で悲しい思い・つらい思いをする人がないように』

が選出され、その中から、義母の交通事故に直面し、悲惨な交通事故の様子を発表された、孝忠 康夫 さんが、9月8日（木）の交通安全高齢者の主張島根県大会に出場していただくことになりました。



『交通死亡事故多発警報』発令に伴う広報検問の実施

松江地区交通安全協会は松江警察署・関係機関団体と協力し、平成23年8月19日（金）松江市千鳥町国道431号線の千鳥南公園前パーキングにおいて広報検問を実施しました。

県下では8月に入り10日間で3件の死亡事故が発生し、県知事名による『交通事故多発警報』が発令されました。その内1件は松江警察署管内で発生していることから、今後の連続発生を防ぐため、通行車両のドライバー等に対し、チラシ等を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



新入学（園）児に交通安全グッズを贈呈

松江地区交通安全協会では、新入学（園）シーズンを迎え、子供たちを交通事故から守る活動の一環として、平成23年4月4日（月）、松江市教育委員会を通じて交通安全グッズを贈りました。

新一年生には『黄色の手提げ袋（夜光反射材つき）』、幼稚園・保育園児には『キーホルダー（無事かえる）』を贈り、松江市と東出雲町の各小学校、幼稚園等に交付されます。



反射材つき手提げ袋



キーホルダー

交通遺児に対する激励金の贈呈

松江地区交通安全協会では、平成23年3月24日（木）、交通事故により親を亡くした子どもに対して、激励金を贈り励ました。

松江市、東出雲町内の遺児（中学生以下）5名に、それぞれの関係支部長を介して贈ることとし、協会長から3名の支部長に伝達しました。



『高齢運転者優先駐車枠』の設定

松江地区交通安全協会では2月14日（月）に松江警察署と協力して、2月1日から新しい高齢運転者標識（高齢運転者マーク）が施行されたことから、松江警察署を訪れる高齢運転者のために、同署前庭駐車場に「路面表示用のマーク」を作成し『高齢運転者優先駐車枠』を設定しました。

当日は、三島交通安全協会長や松江警察署長が自ら駐車枠を示す表示を手がけました。

なお、この高齢者優先駐車枠用のマークは、松江地区交通安全協会が優良で斡旋することとしているとのことです。



『飲酒運転根絶署名簿』の提出

松江地区交通安全協会の城西支部、大庭支部では、悲惨な飲酒運転事故を根絶しようと「飲酒運転根絶署名簿」の作成を計画し、両地域の住民に働きかけを行って、6,000余名の署名簿を2月14日に松江警察署長に提出しました。

こうした草の根的な運動が功を奏して、1件でも飲酒運転事故が減少することを願っています。

『飲酒運転根絶街頭キャンペーン』の実施

松江地区交通安全協会では、12月9日（木）の午前7時20分から8時30分までの間、JR松江駅前において『飲酒運転根絶街頭キャンペーン』を実施しました。

これは、松江酒販組合などと連携して毎年行っているもので、当日は松江税務署、松江市内の高校生など約50名により、通勤通学時間帯で多くの人々が行き交う中で、未成年者の飲酒防止や飲酒運転の根絶を呼びかけました。